

## 低気圧及び寒気の影響に伴う降雨おける 摺上川ダムの効果について (速報)

低気圧及び寒気の影響に伴う降雨で、摺上川ダムにおいて防災操作を行い、約720千m<sup>3</sup>の水を貯め込み、下流河川の増水軽減に効果を発揮しました。

### ◎摺上川ダムの気象状況

6月28日19時頃から29日（9時時点まで）にかけて低気圧及び寒気の影響に伴い摺上川ダム流域に合計88.9mmの雨が降りました。

1時間当りの最大降雨量は、12.1mmでした。

### ◎防災操作の効果

●摺上川ダムに最も多くの水が流れ込んだ毎秒106立方メートルのうち、毎秒98立方メートルをダムに貯め込みました。

（毎秒8立方メートルがダム流下量であり、発電・上水道の使用水量です。）

●今回の洪水における防災操作では、約720千立方メートル（東京ドーム0.6個分）の水を貯留し、下流河川での洪水発生による被害の軽減を図りました。

※ダムがなければ毎秒106立方メートルがそのまま下流へ流れていた事になります。

※東京ドームの容積は124万立方メートル。

〈 問い合わせ先 〉

国土交通省 東北地方整備局 摺上川ダム管理所

所 長 本田 英則

管理係長 遠藤 盛茂

TEL 024-596-1275 (代)

FAX 024-596-1274

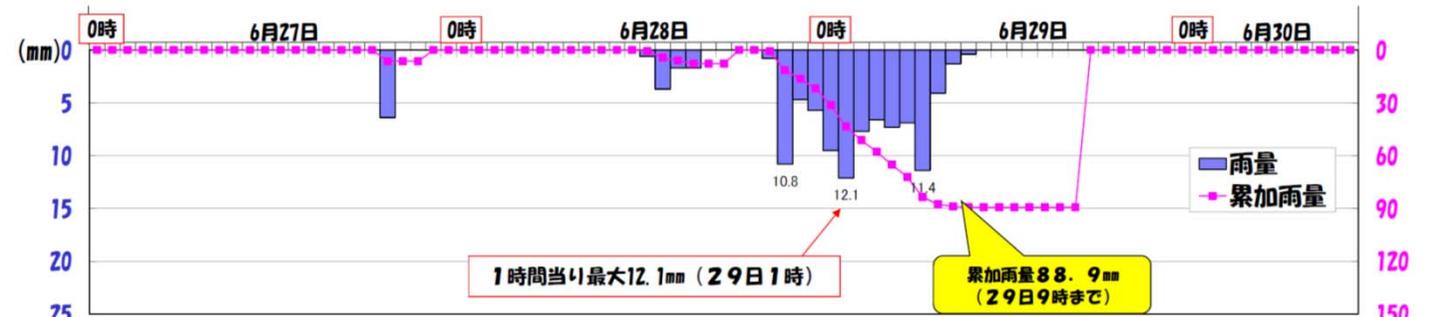
# 阿武隈川水系 摺上川ダムの効果（平成26年6月29日 低気圧）

- 低気圧及び寒気の影響に伴い摺上川ダム流域に、1時間雨量が最大で約12mmとなるなど、6月28日19時頃から29日9時時点までの合計で89.3mmの雨が降り、ダムへの最大流入量は106m<sup>3</sup>/sを記録しました。
- 今回の洪水における防災操作では、約720千m<sup>3</sup>（東京ドーム0.6個分）の水を貯留し、下流河川の増水軽減を図りました。
- 貯水池の水位は、雨が降り出してから約0.7m上昇しました。



～H26. 6. 29 防災操作図～

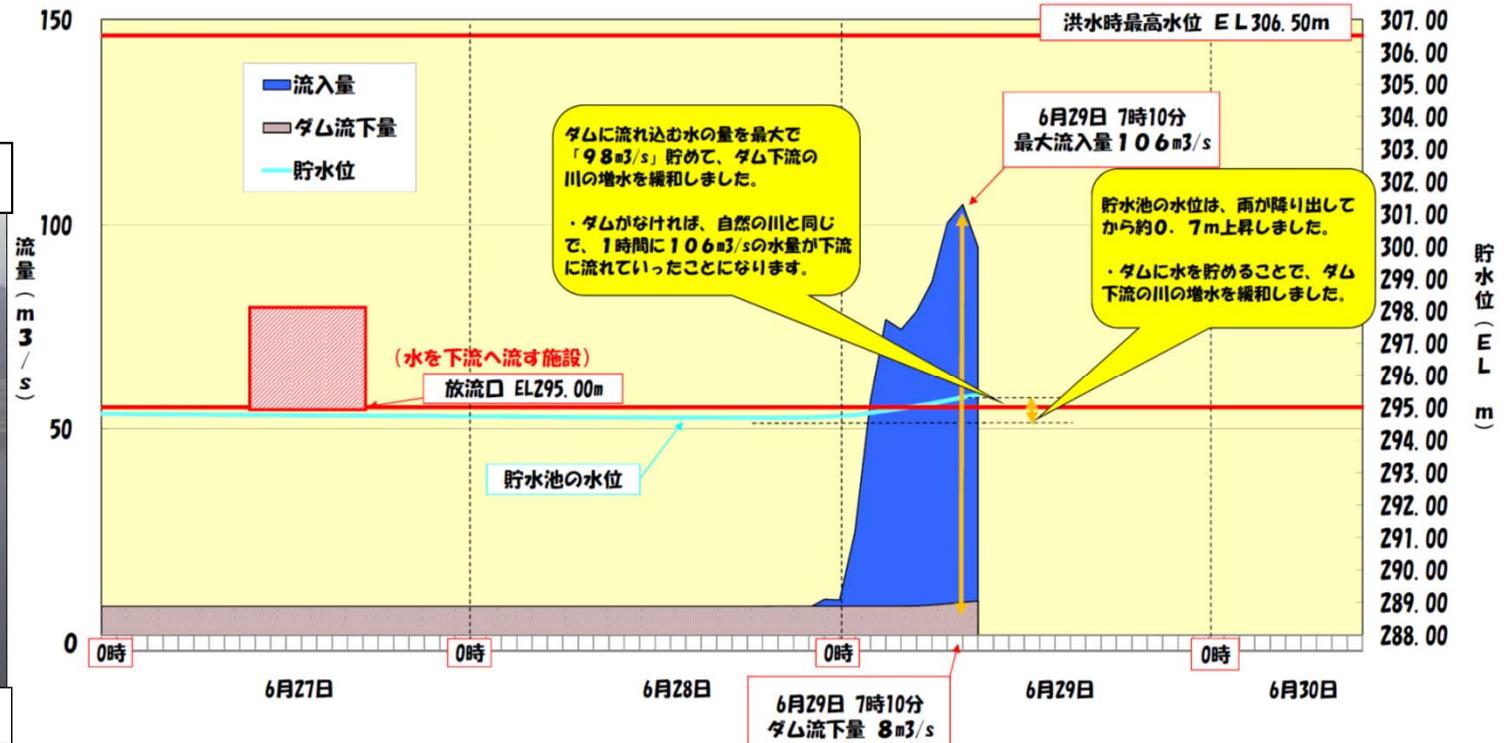
※数値は速報値



摺上川ダムの状況【6/29 9:10 EL295.35m】



降雨開始から貯水池の水位が約0.7m上昇しました。



貯水池 (EL) (m)